



監督・選手のサイン入りパネル

前号でお知らせしました。博物館ミ  
ニ企画展『なでしこの戦い』が、9  
月末をもって無事終了しました。博物  
館入口の小さなスペースを使ってのミ  
ニ展示でしたが、開催期間中はたくさ  
んの方にお越しいただきました。  
特に好評だったのが、佐々木監督、  
澤選手らのサイン入りのパネルでし  
た。サインは8月19日、国立競技場  
で「なでしこジャパン対なでしこ選抜」  
の試合が行われた際にいただいたも  
の。ブルーのユニフォームを着た選手  
の上を金色の紙吹雪が舞い、その中に  
くっきりと銀の文字で書き込まれたサ

この展示会に、当館が所蔵する東京  
オリンピック当時（1964年）の国  
立室内競技場（現代々木競技場）模型  
が展示されています。世界的に有名な  
「吊り屋根式構造」をもつ代々木競技  
場は、建築家丹下健三氏の代表作。日  
本の「公共建築百選」にも選ばれてお  
り、その美しいフォルムは、たくさん  
の建造物模型の中でも目を引くもの  
がありました。  
また、模型の隣では建設時のフィ  
ルム（清水建設撮影、記録映像保存セン  
ター所蔵）も上映されており、1年半  
の工期を経て完成した代々木競技場の  
建築風景や、吊り屋根式構造の詳細な  
どを見ることができます。

展示会の話題をもうひとつ。  
9月17日～来年1月15日まで、六本  
木ヒルズの森美術館で「メタボリズム  
の未来都市展〜戦後日本・今蘇る復興  
の夢とビジョン〜」が開催されていま  
す。



イン・・・女子サッカーの歴史を刻ん  
だ貴重な1枚となりました。  
展示期間中のアンケートにも、「写  
真やユニフォームを見て、興奮や感動  
がよみがえった」「決勝での熱戦が思  
いだされた」といった感想が多く寄せ  
られ、博物館職員としても大きなエ  
ールをいただくことができました。

## 夏に開催した研修事業 国立登山研修所



剣岳長次郎谷雪渓

8月に国立登山研修所が開催した  
主催事業について紹介します。

◆大学生登山リーダー夏山研修会  
大学の山岳部をはじめ、登山活動  
を行うクラブ等のリーダーとリー  
ダー候補者を対象に、国立登山研修  
所及び剣岳周辺を会場として、8月  
27日から7日間の日程で開催しまし  
た。

37名の研修参加者は、2日間「ナ  
ビゲーション技術」「登山の医学」「確  
保理論」の講義を受講し、班毎に分  
かれてロッククライミング訓練施設  
やスポーツクライミング用人工壁で  
ロープ操作等の基本技術を習得し、



剣岳チンネ左稜線

剣沢に向けて入山しました。  
入山中は、「縦走研修コース」「登  
はん基礎コース」「登はんコース」  
に分かれて、長次郎谷やチンネ周辺  
等で雪渓の歩き方や岩登り、縦走登  
山における確保技術、懸垂下降技術  
を身に付け、剣岳登頂を目指しまし  
た。  
下山後の最終日には、「夏山の気  
象と雪渓」の講義後、「チャレンジ  
& チェンジ」をテーマに班毎に意見  
を発表し、研修会を振り返りなが  
らリーダーの役割についてともに考  
えました。  
研修参加者は、7日間の研修を通  
して、リーダーとして登山活動を行  
うために必要な心構えや危急時対策、  
そして、目標を明確にして安全に活  
動することの大切さを学びました。